

内閣参甲第一二八号

昭和二十三年六月十一日

内閣総理大臣 芦田 均

参議院議長 松平 恒雄 殿

参議院議員小川友三君提出私鉄買収に関し、別紙答弁書を送付する。

昭和廿参年七月八日

參議院議員小川友三君提出私鉄買収に關する質問に対する答弁書

私設鐵道は一地方の交通を目的とするものであり、それ自体としての使命を有するものと考ふる。

私設鐵道を買収するには國內輸送の総合的な観点からこれを検討すべきものであつて、單に國鉄財政の赤字補填という目的から有利な私鉄を買収するが如きは民業庄迫の意味からも賛成し難い。

又現在の財政状態から見てこのための買収公債を發行する余裕はない。

なお、現在私鉄においてもその經營は著しく困難で先般一般物價に先がけて暫定措置として七五%の値上げをしなければならなかつた状態で採算のよい私鉄は殆んどないことを了解せられたい。